

船橋市公共施設等総合管理計画
(追補版)

令和4年5月

船橋市

追 加 項 目
① 充当可能な地方債・基金等の財源の見込み（10年間程度）
② 過去に行った対策の実績
③ 全庁的な取組体制の構築やPDCAサイクルの推進等に係る方針
④ ユニバーサルデザイン化に係る方針

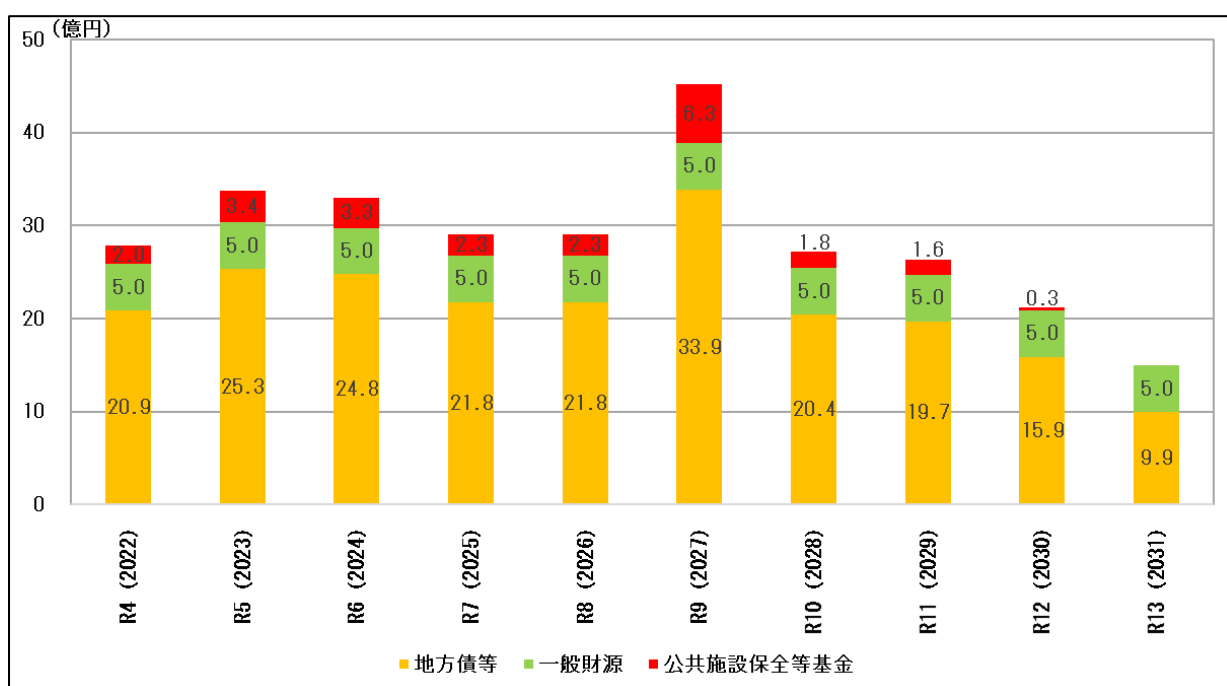
① 充て可能な地方債・基金等の財源の見込み（10年間程度）

(3) 公共施設等の維持管理・更新等に係る経費に充て可能な地方債・基金等の財源の見込み

公共施設等の維持管理・更新等を行う際には、計画的保全及び長寿命化により費用や負担の平準化に努めます。

また、公共施設等適正管理推進事業債等の地方債や船橋市公共施設保全等基金を活用するなど、計画的な財源確保にも努めます。

【参考】 船橋市公共建築物保全計画に基づく事業における財源の見込み



※試算条件

地方債等：令和4年（2022年）度当初予算の割合を参考としている。

一般財源：各年度5億円を充てすることを見込む。

基金：事業費に対し、地方債等充て後の一般財源の充て額（5億円）を超える額を充てすることを見込む。

本編17ページ「(2) 更新等費用シミュレーション」の次に(3)として追補

②過去に行った対策の実績

統廃合・複合化・新規施設整備の考え方

(1) 統廃合・複合化等の考え方

【参考】本計画策定後の主な取組事例

- ・視聴覚センターの廃止及びふなばし市民大学校の事務所移転（令和3年(2021年)度）

本編 22 ページ「(1) 統廃合・複合化等の考え方」に追補

民間活用 (PPP、PFI) の考え方

【参考】本計画策定後の主な取組事例

- ・運動公園及び法典公園（グラスポ）の指定管理者制度導入（令和2年（2020年）度）
- ・市営住宅の指定管理者制度導入（令和3年(2021年)度）

本編 25 ページ「民間活用 (PPPⁱ、PFIⁱⁱ) の考え方」に追補

耐震化の考え方

【参考】本計画策定後の主な取組事例

- ・宮本、二和公民館の特定天井改修（平成29年（2017年）度、令和2年（2020年）度）

本編 25 ページ「耐震化の考え方」に追補

③全庁的な取組体制の構築や PDCA サイクルの推進等に係る方針

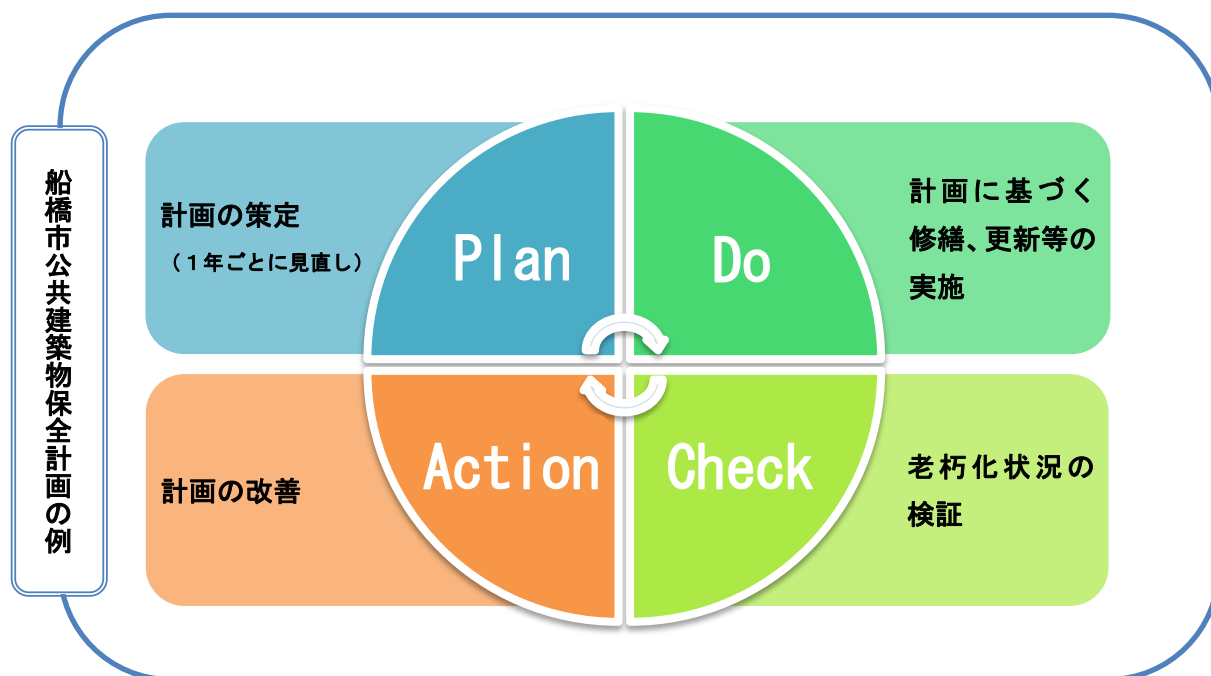
(3)PDCA サイクルの推進

本計画は、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を行っていくために、PDCA サイクルによる進行管理を行います。

本計画に基づく PDCA サイクルは、各個別施設計画により具体的な取り組みを実施することにより実現性・実効性を確保します。

船橋市公共建築物保全計画の例では、下図のとおり「船橋市公共建築物保全計画の策定 (P)」、「船橋市公共建築物保全計画に基づく修繕、更新等の実施 (D)」、「点検結果や現地調査による老朽化状況の検証 (C)」、「検証結果に基づく計画の改善 (A)」を一連の流れとし、継続的に計画の評価、見直しを行っていきます。

また、その他の個別施設計画についても、PDCA サイクルを活用した継続的な計画の評価、見直しを行っていきます。



本編 27 ページ「(2) 庁内の体制」の次に (3) として追補

④ユニバーサルデザイン化に係る方針

3-2-8 ユニバーサルデザイン化の推進方針

平成 29 年（2017 年）2 月に国により定められた「ユニバーサルデザイン 2020 行動計画」の考え方を踏まえ、改修等を行う際には、誰もが安全安心に公共施設等を利用できるよう、ユニバーサルデザインに配慮した施設整備に努めます。（P. 22 第 3 章 3-2 基本的な考え方図中「②安全安心な公共施設等の整備」に含む。）

本編 27 ページ「3-2-7 推進体制の構築とフォローアップの考え方」の次に「3-2-8」として追補

船橋市公共施設等総合管理計画（追補版）

【発行日】 令和4年5月

【発行】 船橋市

【編集】 企画財政部 行政経営課

〒273-8501 船橋市湊町2丁目10番25号

電話：047-436-2631

FAX：047-436-2156